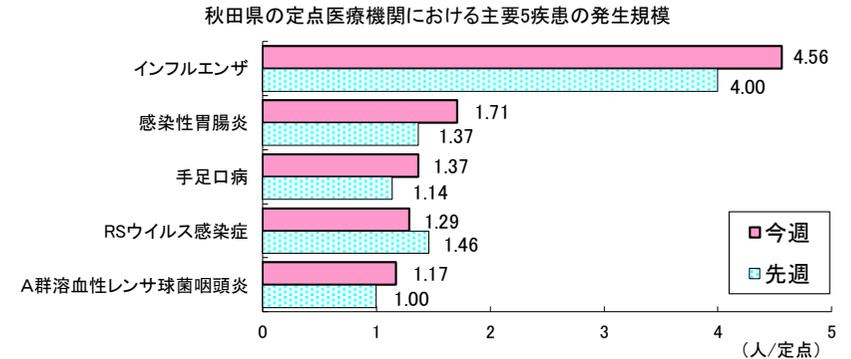




【第48週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、由利本荘、横手で増加、秋田中央で同規模、能代、大仙、湯沢で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、由利本荘、横手、湯沢で増加、大仙で同規模、北秋田、秋田中央で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、大仙、湯沢で増加、能代、秋田中央、横手で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減																					
RSウイルス感染症	1.46	1.29	↘	2.86	2.71	↘	0.75	0.75		7.00	2.00	↘	0.33	0.67	↗	2.00	2.25	↗	0.25	0.50	↗		0.25	↗	1.33	1.67	↗			
インフルエンザ	4.00	4.56	↗	2.00	4.09	↗	1.43	2.00	↗		0.33	↗	1.25	0.25	↘	0.17	0.17		1.00	4.50	↗	5.86	5.57	↘	7.80	11.40	↗	18.40	12.20	↘
咽頭結膜熱	0.09	0.06	↘		0.29	↗													0.50		↘	0.25		↘						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.17	↗	1.71	1.86	↗	1.75	0.75	↘		1.50	↗	0.67		↘	1.25	2.25	↗		1.25	↗	1.50	1.00	↘	0.33		↘	0.50	1.00	↗
感染性胃腸炎	1.37	1.71	↗	2.57	3.14	↗	0.25	0.75	↗	1.50		↘	1.67	2.33	↗	2.00	1.50	↘		1.00	↗	0.75	0.75		0.67	1.33	↗	2.00	2.75	↗
水痘	0.37	0.40	↗	0.57	0.43	↘	0.50	0.50			0.25	↗	0.33	0.33					1.00	1.50	↗	0.50	0.50							
手足口病	1.14	1.37	↗	1.71	3.86	↗							4.00	0.33	↘	0.75		↘				1.00	1.25	↗	2.33	1.33	↘	0.50	2.50	↗
伝染性紅斑	0.06	0.09	↗		0.43	↗																0.50		↘						
突発性発しん	0.17	0.23	↗	0.29	0.57	↗	0.25	0.25		0.50	0.50			0.33	↗				0.25	0.25								0.25		↘
ヘルパンギーナ	0.11	0.11		0.14	0.14		0.25		↘				0.33	0.33								0.25		↘					0.50	↗
流行性耳下腺炎	0.09	0.03	↘					0.25	↗				0.33		↘				0.25		↘	0.25		↘						
川崎病		0.03	↗																	0.25	↗									
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*					1.00	1.00				*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.38	↗		1.00	↗					1.00	↗				*	*		1.00	1.00		1.00		↘						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)が秋田市保健所管内から1人、百日咳が北秋田保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-47週		48週
		全国	秋田	
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	19062	102	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	5		
	細菌性赤痢	101	2	
	腸管出血性大腸菌感染症	3545	37	
	腸チフス	34		
	パラチフス	18		
四類	E型肝炎	442	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	404	7	
	エキノкокクス症	20		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサナル森林病			
	Q熱	2		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	3		
	重症熱性血小板減少症候群	96		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-47週		48週
		全国	秋田	
四類	チクングニア熱	45		
	つつが虫病	173	5	
	デング熱	433	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	303		
	日本脳炎	7		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	53		
	野兔病			
	ライム病	17		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	2148	14		
レプトスピラ症	28			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アmeerバ赤痢	767	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	301	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2034	13	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	70		1
	急性脳炎	771	4	
	クリプトスポリジウム症	19		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	175	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	822	4	
	後天性免疫不全症候群	1083	2	
	ジアルジア症	45	1	
	侵袭性インフルエンザ菌感染症	486	2	
	侵袭性髄膜炎菌感染症	45		
	侵袭性肺炎球菌感染症	2856	16	
	水痘(入院例に限る)	429	9	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	5957	25	
	播種性クリプトコックス症	138	1	
	破傷風	114	3	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	71		
百日咳	15523	189	2	
風しん	2266	3		
麻しん	737			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			

トピック

<ウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう>

師走に入り、寒さも厳しくなってきました。例年、この時期はノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスを原因とした感染性胃腸炎の患者報告数が増加します(図)。また、乳幼児施設(保育園、幼稚園等)や学校、高齢者施設、病院等における集団事例の発生も多くなることから、注意が必要です。

■症状

潜伏期間は1~3日程度で、主な症状は嘔吐、下痢、発熱、腹痛です。通常、これらの症状は数日~1週間ほどで改善しますが、乳幼児や高齢者では、嘔吐・下痢による脱水や嘔吐物をのどに詰まらせての窒息などに注意が必要です。また、乳幼児がロタウイルスに感染した場合は、まれに脳症等の重篤な合併症を引き起こすことがあります。

■予防

感染対策には、手洗いが最も重要です。トイレの使用後や調理・食事の前には、石けんをよく泡立ててしっかりと手を洗いましょう。また、患者の便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれているため、これら処理する際には手袋やマスクを着用しましょう。消毒には塩素系漂白剤が有効です。速やかに適切な処理を行い、周囲へ感染を広げないことが大切です。

※参考

秋田県健康環境センターホームページ:ノロウイルス感染症の予防対策の実際

https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/25

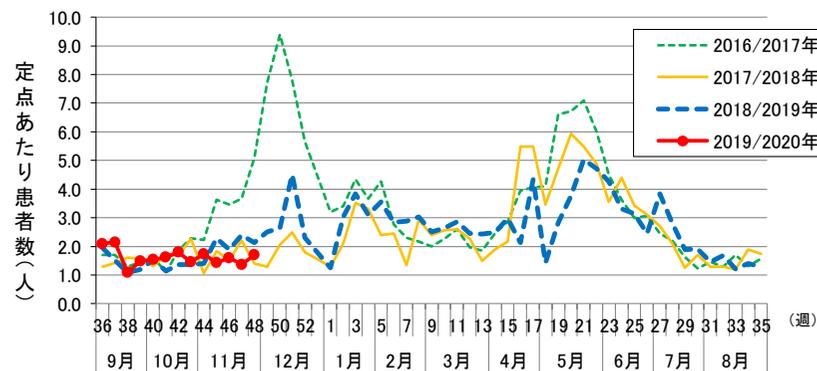


図 秋田県における感染性胃腸炎発生動向の推移 (2016年第36週~2019年第48週)



2019年/2020年シーズン (2019年第36週: 9月2日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

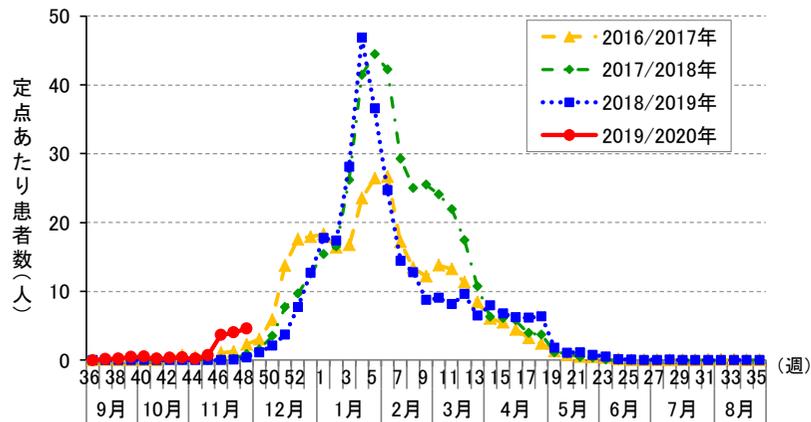


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
11/18～11/24 (47週)	11/25～12/1 (48週)	累計	11/11～11/17 (46週)	11/18～11/24 (47週)	累計
8	10	27	95	159	1,073

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告が2件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
横手市	常磐保育園	11/25	68名のうち12名	15名のうち0名	12名	11/20～11/25	A
横手市	下鍋倉保育所	11/28	115名のうち9名	25名のうち1名	10名	11/26～11/28	A

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(12月1日時点)の報告数
4施設: 保育所等4

※社会福祉施設(老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設、他)における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

感染性胃腸炎の集団発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
三種町	琴丘保育園	11/28	86名のうち18名	24名のうち0名	18名	11/12～11/28	発熱、嘔吐、下痢

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○2019年度(12月1日時点)の報告数
29施設 有症者401名: 社会福祉施設3、保育所等23、病院1、その他2

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

その他の感染症の集団発生報告

かぜ様症状集団発生1件、手足口病集団発生1件の報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
かぜ様症状	男鹿市	船川保育園	11/26	97名のうち63名	28名のうち0名	63名	11/18～11/26	咳、熱
手足口病	秋田市	ナーサリーふじ	11/28	129名のうち14名	32名のうち0名	14名	11/16～11/28	発疹



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	横手(11.40)、湯沢(12.20)	-
水痘	由利本荘(1.50)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			警報			
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		